

福岡県公安委員会活動状況

<定例会の主な議題及び要旨>

平成29年6月29日（木）

【協議事項】

1 6月定例県議会の結果について

（総務部）

警察本部から「6月定例県議会は、17日間の会期を終え、6月23日に閉会した。本会議の代表質問では、警察職員の非違事案及び障がい者雇用について、一般質問では、女性警察官の増員について質問が行われた。また、警察委員会では、警察から非違事案の発生及び所管事務の概要について報告した。」旨の報告があった。

公安委員から「障がい者雇用についての質問は、どのような趣旨だったのか。」旨の質問があり、警察本部から「法律により、障がい者の雇用率が定められているが、今回、法改正で精神障がい者も雇用の対象に含まれることとなったため、県警察の対応について質問されたものである。」「県警では、現状として障がい者の法定雇用率は満たしており、現段階での対応というものはないが、今後、退職者が出てきた場合で法定雇用率を下回ったときには、採用試験の対象となり得るが、精神障がいの方が警察の中のどこで仕事ができるのかを考えた上で採用をどうするか検討していく必要がある。」旨の説明があった。

公安委員から「女性警察官の増員とは、どのような趣旨だったのか。」旨の発言があり、警察本部から「県警察では、女性警察官の割合を、平成43年までに条例定員の10%とすることを計画しているが、女性の雇用促進のため、女性警察官の雇用を早めてはどうかとの趣旨であった。県警察では、現在の女性警察官の割合は全国平均よりも少し低くなっているが、採用情勢、配置ポストの拡大等の現象面の対応を勘案しながら採用計画を進めている。」旨の説明があった。

2 夏の交通安全県民運動と連動した交通事故抑止対策の強化について

（交通部）

警察本部から「7月中旬から下旬にかけて、1日当たりの交通事故発生件数は多くなり、特に、子供が負傷する交通事故が多く発生する傾向にあることから、7月10日から7月31日までの22日間、夏の交通安全県民運動と連動した交通事故抑止対策を強化する。期間中は、子供と高齢者の交通事故防止、飲酒運転の撲滅及び自転車の安全利用の推進を重点に設定し、各警察署において、薄暮時間帯の街頭活動の強化や各種キャンペーン等に取り組むこととしている。」旨の報告があった。

公安委員から「啓発用のチラシはどこに配布するのか。また、チラシに飲酒運転を発見した時は「警察官に通報」との記載があるが、「110番通報」の方が通報先も分かりやすいのではないか。」旨の発言があり、警察本部から「啓発チラシは、警察署のイベント等で配布するほか、交通関連事業者等に配布している。チラシの文言については、次回作成時の参考としたい。」旨の説明があった。

公安委員から「自転車マナーの現状を見ても、交通マナー教育として子供達を集中的に指導する期間は必要だと思う。頑張ってください。」旨の発言があった。

